

## 報告書

令和3年 3月 25日

小牧市議会議長 様

会 派 名 無会派 船引 嘉明  
代表者氏名 船引 嘉明

研究・研修の結果を報告します。

### 記

#### 1 参加議員

船引 嘉明

#### 2 日程・会場

過去に開催された研修を動画データにて受講

#### 3 研究・研修名

アフターコロナ関連質問特別研修

- ・ 質問のための情報の集め方
- ・ 質問聞き取り時の職員対応マニュアル
- ・ 質問本番の取り組み方
- ・ 政策実現のために、質問後に動く議員活動のしかた

#### 4 主催者

地方議員研究会 講師 日本公共経営研究所 宮本 正一(寝屋川市議)

#### 5 受講の目的

世界中でコロナ禍による社会問題は深刻で、少子高齢化を始めとしたこれまでの問題を加速化させ、より先行き不透明な社会情勢となり、最優先である市民の安全安心、福祉や教育など、全てにおいて見直さざるを得ない状況が生じており、対応策が議会に求められていると感じている。

そのため、コロナ禍から市民を守るために必要な「社会的安全」と「経済的安心」、この困難な状況を乗り越えていく「個人や地域活動のありかた」、市民の求めに応じるために「自分のやるべきこと及び政策・事業・制度への反映のしかた」などを学びたいと考え、この講座を受講した。

また、講師が、一議員として豊富で実践的な経験を元に「この深刻な状況に速やかに対処し、暮らしの改善を図るため」に活躍されており、その活動や考え方を参考にしたいと考えた。

## 6 主な内容

### ○質問のための情報の集め方

- ・なぜ、議員に成り、続けているのかを見つめ直す。
- ・国・都道府県からの効果的な情報入手方法。(インターネット等)
- ・議員の立場を活かしているか。
- ・役所が話を聞く情報要件。誰のために、何のためにを明確にし、「原稿の木」を見せる。

※原稿の木とは原稿を木に例え、まず根(背景・質問主旨)があり、そこから延びる幹(市の施策)を設定し、そこから枝として伸びる部署を見極めて質問を作ることである。新型コロナウイルス対策を原稿の木として考えた時、根は質問の背景となる市の新型コロナウイルス対策であり、その先の幹は「総合計画」なのか「新型コロナウイルス等対策行動計画」なのかを選び、さらにその先に伸びる枝は「安全で安心できるまちづくり」や「医療」などである。原稿の木を見せることで、質問主旨や目的が伝わりやすい。

- ・法律と計画を踏まえ現場を知る。

### ○質問聞き取り時の職員対応マニュアル

- ・答弁調整は、課長中心。調整目的は、答弁の方向性を明確にすることと執行部内に人脈を作ること。
- ・会派勉強会を開き、職員から上手に情報を聞く。
- ・これからの議員の資質は「プロのゼネラリスト」であり、高い専門性が必要。
- ・市長との関係を見直す。総与党化機能が疲弊しており、議会は進化

すべき時期。例えば、公聴会・参考人制度、議員提案の試験的挑戦、政務活動費は議会費で落とせるものに変更するなどである。

#### ○質問本番の取り組み方

- ・質問の効果と議会と議員が必要なのか、「そもそも論」を考える。
- ・質問とは政策の是正・変更・新規採用を目的としている。質問には「政策提案型」、「課題追求型」、「自己主張型」があり、一番重要なのは課題追求型である。
- ・質問通告は政策論議。質問要領は簡明で次元の高いものとする。
- ・再質問メモは y e s と n o の両方用意。

#### ○政策実現のために、質問後に動く議員活動のしかた

- ・質問と答弁を年次計画（活動戦略・原稿作成シート）で考える。
- ・議会の権限（予算・条例における議決権、増額修正権等）を見直し、答弁マトリクスシート（全議員含めて検討質問答弁、その後の進展をまとめたもの）を作成する。
- ・政治活動と議員活動。効果的な広報活動（辻立ち・ポスティング・施政報告会）を考え、自身の活動を見直す。

### 7 所管・提言・課題等

- ・講師より冒頭、なぜ市議になったか、投票率の低さ、議員定数の削減に対する考えを基に聴講者との対話が図られ、一般の人の誤解を解くために何が必要かの結論に達す。いずれの立場においても真剣に本格的な当事者意識を持ち、より大きな流れとして巻き込むことの大切さを学んだ。
- ・発想の起点を広く大きくすることで、社会的背景からまちづくり推進計画や政策・マニフェストを照らし、問題を中心にしてあらゆる角度から関係性を明らかにして、末端の細部に至る視点で問題の現場に的を絞っていく手法によりの確に目標をとらえる事ができると知り、今後の質問に活かしていきたい。
- ・コロナ禍で政治・経済・社会・科学とあらゆる分野で環境が激変する中で、付託を受けた市議として責任を自覚し、これまで以上に感度と意欲をもって学び実践していくことであたらしい未来を切り開いていくことに応じていきたいと考える。

- ・この大変化に適応するためには、世の中の価値観の変化に早く対応して、優先すべき判断基準のもと、自分は何ができるかの視点で、よく考え尽くし、情熱をもって筋道に従って誠実に説明責任を果たして、周りの人によく相談の上、議会での質問を含め、必要なことを適切に提供し役に立つよう進める事が大切である。